

## 1 目的

職場での健康づくりの必要性を理解し、産業医の講演や事業所からの取組事例紹介を通して具体的な知識を習得することで、「健康な職場づくり」を推進していくための理解を図ります。

2 日時 令和2年2月4日(火) 14時～16時30分

3 会場 千葉県自治会館 第1・2会議室

4 対象 事業所の経営者及び、保健部門担当者など

## 5 開催結果

### (1) 内容

①講演 「職場で健康づくりを推進していくために必要なこと」

講師 日本製鉄(株)君津製鉄所 総括産業医 宮本 俊明先生

《主な内容》産業保健では、特定保健指導等のハイリスクアプローチも重要であるが、健康教育等のポピュレーションアプローチが効果的であり、取組やすく広く受け入れやすいプログラムを選んで実施していくと効果的である。

②職場の健康づくり紹介(資料3-3参照)

山田機械工業株式会社 管理本部長 山中 敏正氏

古谷乳業株式会社 総務部総務課主任 本村 隆博氏

③保険者による職場の健康づくりへの働きかけ

全国健康保険協会 千葉支部 企画総務部長 望月 幹也氏

《主な内容》加入企業に健康宣言を働きかけ、宣言事業所には、認定証の交付、従業員の健康診断結果や医療費状況等を同業種等と比較した「健康度 見える化BOOK」を作成し、健康づくりをサポートしている。

④事業所向け健康情報提供(千葉県健康づくり支援課)

- ・Work+10
- ・働き盛りのあなたへ ふやそう野菜へらそう塩
- ・がんと診断されても、すぐに仕事を辞めないで!
- ・がん患者の就労支援に関する情報提供依頼書・診断書の使い方

(2) 参加人数 36名(事業所10名、保険者11名、保健所11名、その他3名)

(3) 参加者の感想(アンケート抜粋)

- ・宮本先生の講演から、健康教育と情報提供の大切さを改めて感じた。
- ・各事業所で健保組合の事業へ参加し、健康増進を図っていることが理解できた。
- ・職場の健康づくりは、管理職の意識が高いとより良い方向に変わると思った。
- ・身体の健康、心の健康、社会活動等が、良い仕事につながると思った。